

学校図書館利活用を広げるために

— 司書教諭として —

『学校図書館』 4月号

★キラリ! ☆ 司書教諭 144～150

	1 年生		2 年生		3 年生		支援学級 生徒会・クラブ
目標	親しむ 貸出・返却の仕方を覚える 本に慣れ親しむ		活用する 自分で考えそれを自分の言葉で表現 する力を身につける		応用する 問題を発見し解決する能力を養う		調べ理解する 力を身につける
4 月	国語 国語	図書館オリエンテーション 本のしくみ成り立ち・名称 索引・目次などの活用	国語 総合 総合	調べ方、レファレンスツール 京都調べ 職業調べ・職体について	総合 総合	レポートの書き方 ・長崎調べ、東京調べ ガイドブック	(支援学級) ・「数」について ・ペットボトル 工作について
5 月	理科 理科 国語	身近な生きもの調べ 身近な植物と昆虫 食べられる植物調べ 奥付・分類について	国語 美術 総合 理科	篆刻を調べて篆刻をしよう 篆刻で名前の篆刻を作る コリアについて異文化理解 鉱物・三角州	総合 国語 保体	修学旅行調べ 俳句調べ、作者調べ 参考文献・責任表示 応急手当て	・折り紙 ・ことば遊び ・大型絵本
6 月	国語 社会 国語 道徳	部首調べ、百科事典の使い方 都道府県調べ ディベート準備 地下鉄サリン事件 いじめ・差別	国語 国・美 美術	詩・短歌調べ 私のお気に入り個人調べ 篆刻で名前の篆刻を作る 辞典・事典・字典の違い ご当地ゆるキャラ作り	国語 保体 保体 理科 理科	歳時記を利用し俳句作り 薬物 応急手当て DNA調べ 遺伝子について	・紙芝居 ・社会や理科の 授業の中で、 図鑑や地図を 閲覧
7 月	家庭 理科 国語 国語 社会	モバイル・七夕飾り 植物について 個人調べ、記録カード利用法 本の紹介レポートの書き方 熊取町の歴史・地理調べ	国語 保体 道徳 理科 国語	方言調べ・四字熟語調べ 環境問題について 職業差別について 地震関係・自由研究 読書感想文にむけて	国語 道徳 国語 社会	慣用句・ことわざ調べ 男女共生について 読書感想文にむけてブック トーク 税についての調べ学習	・進路の本 ・読み語り本
8 月	理科	自由研究	理科	自由研究	国語	読書感想文	(生徒会) ・読み語り「はる かのひまわり」 ・演劇の脚本
9 月	数学 社会 美術 保体	年鑑について 日本十進分類法のしくみ 世界の国調べ レタリング、本の表紙デザイン 心身の機能の発達と心の健康	理科 英語 美術 美術 美術	身体のしくみ 世界の国調べ 彫刻のデザイン調べ しおり・動物の図案探し 絵画の技法調べ	国語 国語 美術 道徳	意味調べ・詩調べ 和歌調べ 古代の色紙の扇子作り 植村直己はじめ冒険家の本 夢・マナー・規則	・切り絵 (家庭科部) ・ステッチフェ ルト ・棒針の編み方 (E S S 部)
10 月	国語 国語 道徳	竹取物語・昔の生活について 故事成語調べ 阪神淡路大震災について	国語 社会	「平家物語」調べ 参考文献・責任表示について 都道府県調べ	保体 国語 音楽	薬物について 和歌調べ 作曲家調べ	・英語の本 ・新聞作りの題 材調べ (美術部)
11 月	社会 国語 総合	都道府県調べ 流水と私たちの暮らし 図書館の役割について 様々な人権について	美術 理科 保健 国語	版画の図案探し 分類の分からない動物 環境調べ・環境問題 徒然草・詩調べ・百人一首	国語 美術 美術	万葉集・古今和歌集・新古今 和歌集調べ 古語調べ 「文様・古典の色」調べ	・クリスマスに ついて ・デザイン題材 選び
12 月	国語 理科 社会	百人一首調べ 地震について 歴史・人物・出来事調べ	保体 保体	エコマークについて 環境問題・たばこ 奥付の見方・索引の使い方	総合 保体	世界の人権問題について (紛争・差別) インフルエンザについて	・アイディアを 練るための写 真やイラスト (放送部)
1 月	社会 社会 保健 美術	飛鳥奈良平安時代歴史新聞 農林水産業について 第二次性徴・ストレス 切り絵	国語 美術 美術 英語	平家物語・源氏物語 本のしおり 切手図鑑・図柄デザイン 昔話 (英語の絵本)	理科 理科 国語	発電所について 放射能・原子力 短歌・個人調べ レポートの書き方	・NHKコンク ールにむけて の題材探し ・読み聞かせ本 (図書委員会)
2 月	国語 社会 美術	漢字の成り立ちについて 引用と要約の違い、著作権 工業の調べ 昔の切手について	保体 家庭 英語 英語	環境調べ 郷土料理について 世界の国調べ・国紹介 地雷について	理科 理科 保体	電気エネルギーはどこから? 発電について エイズについて	・アニメ描き方 ・消しゴム判こ の本
3 月	理科 理科 数学	火山調べ 地震・防災について 統計でヒストグラフ	保体 社会	ゴミ問題・震災に備える 歴史新聞 (江戸時代編) 3 桁分類について			

前の資料の説明

- 学校図書館の利活用を広げる為にも、教科の授業と図書館をつなぐために、良かったなあと思うのは、資料1の、本校の歴史がいっぱい詰まった「図書館活用年間計画」です。
- この資料は、このような活用ができるという「可能性」として、過去数年間の授業での図書館活用を記録したものです。
- 教科を越え、どの学年で、どの時期に、どんな調べ学習をしたのかがわかり、お互い参考にすることができるので、積み重ねを「足跡」を残していくことが、今後のためにも大切だと考えています。
- この年間計画作成にあたっては、年度初めの職員会議で全教員に提案し、協力を得て作成します。
これから新年度が始まるという、4月のスタートで提案することに意義があると考えています。

2015 年度 「図書館活用予定」

授業で図書館を使う予定があれば、簡単に内容をご記入ください。

(資料 1 の 2011 年～2014 年度分を参考にご覧ください)

学年 () 教科・領域 () 授業者 ()

	1 年生	2 年生	3 年生	支援学級	クラブ 委員会
4 月					
5 月					
6 月					
7 月					
8 月					
9 月					
10 月					
11 月					
12 月					
1 月					
2 月					
3 月					

4 月中に教頭先生机の封筒にご提出ください。ご協力お願いします。

前の資料の説明

- 数年分をまとめた本校図書館活用の歴史がわかる「図書館活用年間計画」と、この新年度の予定を書き込む用紙をセットにして配布します。新しく赴任された先生は、この数年分の図書館活用の足跡をじっくり見入っています。それが功を奏して、授業で図書館を使ってくれることに、繋がっていきます。
- また、前々から十分な準備ができるという利点もあり、調べ学習時に200冊以上もの本の準備(豊かな調べ学習)を可能にします。
- この図書館利活用を広がっていく仕組みを作ることは、司書教諭として年度初めの大切な仕事だと考えています。

— 学校図書館を活用しての調べ学習システム —

- 1、**学校図書館で調べ学習をするための授業計画を立てる。(授業者・司書教諭)**
 - ・教材単元のどの段階で図書館を利用するか。(導入・展開・まとめ・発展)
 - ・調べ学習の課題を決定する。(ねらい・ポイント)
 - ・どのような調べ方が適切か。(項目・手順・形態・時間数)
 - ・ワークシートを作成し、調べた内容の記録ができるようにする。(分析・整理・まとめ方)
 - ・図書館で調べた学習をどう展開・発信するか。(発表会・実演・冊子・レポート・掲示)
 - ・場合によっては司書教諭が支援し、学校司書につなぐ。
- 2、**学校図書館司書に相談し打ち合わせをする。(学校図書館司書・授業者)**
 - ・授業のねらいや調べ学習の内容、調べ学習で配布するプリント・ワークシートの確認。
 - ・資料の検討(使いたい資料。必要な本・冊数、学校図書館の蔵書確認。)
 - ・方法や形態の確認(期間・時間・クラス学年・他の教科との調整。)
 - (集めた本の設置の仕方、本の使い方や調べ方の説明について)
- 3、**本の準備をする。(学校図書館司書)**
 - ・授業者と打ち合わせをした後、教科書・ワークシートを見て下調べをする。
 - ・学校図書館で使える本を準備する。
 - ・公共図書館の蔵書を検索する。
 - ・団体貸出を依頼し必要な本を揃える。(連絡便)
 - ・他校から相互貸借で必要な本を揃える。(連絡便)
- 4、**学校図書館または教室で、調べ学習をする。(学校図書館司書・授業者・司書教諭)**
 - ・生徒は資料を活用しながら、情報を収集して整理し、記録してまとめる(発信する)。
 - ・授業者は授業内容の説明をして様子を見ながら、情報の活用の仕方や学習結果のまとめ方の指導助言をおこなう。
 - ・学校図書館司書は、生徒の利用状況を見ながら、必要に応じて本の使い方や調べ方を説明する。次回に役立てるため、生徒の様子や気づいたことを記録しておく。
 - ・授業者と学校図書館司書・司書教諭で、準備された本の中で使いやすかった本などの情報交換し、今後学校図書館に揃えたい本などについて意見交換する。

[注：以前の研修での資料を参考に本校用にアレンジしたもの]

資料3 学校図書館を活用した調べ学習の手引き

前の資料の説明

- 図書館活用計画と共に、「学校図書館を活用するための調べ学習システム」を同時に紹介します。
- これは実際に学校図書館を使っての調べ学習をどのように進めていくか「調べ学習の手引き」を示したもので、まず授業者が、ねらい・授業計画を立て調べ学習の見通しを立てます。
- 次に、どんな資料でどれくらいの冊数が必要か等、細かい打ち合わせをします。など、調べ学習に入る手順を書いたものです。
- 以上が、授業で図書館活用をすすめていく第一歩です。

豊かな学びを支える学校図書館

— 系統的な探究学習 —

『学校図書館』 5月号

- 5月号は、「系統的な探究学習」がテーマです。
- 図書館活用を広げる為に、まず、司書教諭が率先して、
どんどん図書館を活用していくことが大切だと考えました。
その一部を紹介します。
- 中学校2年、国語「平家物語」の調べ学習を、「テーマ決め」からプレゼンテーションまで、系統的に行なった取り組みです。

古典「平家物語」 授業計画

(資料 1)

単元名 「平家物語の世界」(調べ学習)

調べ学習の目標

- 古文独特の表現に注目しながら、戦いの場にある登場人物の考え方や生き方に迫ることにより、古典の世界を楽しむ。(新学習指導要領[伝統的な言語文化に関する事項]に基づく)
- 平家物語に関するいろいろな本を読み、広い範囲から情報を集め効果的に活用することにより、「平家物語」の時代背景や教科書内容を一層深く、さらにそれ以外の内容まで長編「平家物語」の世界を幅広く味わう。
- 自分の決めたテーマを調べ、内容を的確にまとめる。班の話し合いにより構成を工夫して、相手にわかりやすく伝える。お互いの発表を注意して聞き自分の考えを広げる。

【授業の進め方】

	日程	授業の流れ	主な学習内容
第1次	月／日 ()限	読み味わう	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの本をいろいろな手に取って読んでみる。 ・特に興味関心をもった本、事柄を見つけ、じっくり読み味わう。
第2次	月／日 ()限	調べる	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を見つけ、テーマを絞る。 ・テーマに沿った複数の本を、読み比べる。
	月／日 ()限		<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決できる資料を収集し、分析し、考える。 ・内容を解釈し、要約し、記録ノートにまとめる。
第3次	月／日 ()限	まとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめの仕上げをする。 ・印刷、製本し、冊子「平家物語の世界」を作成する。 ・自分たちの冊子をみんなで読み合い、交流する。
第4次	月／日 ()限	《深める》 発表を 組み立てる	<ul style="list-style-type: none"> ・よく似たテーマ別で集まり班を作り、新テーマを決める。 ・それぞれの調べた資料で発表内容を協議し、わかりやすい発表の仕方や工夫を話し合う。
	月／日 ()限		<ul style="list-style-type: none"> ・発表にむけて分担を決め、必要な準備をする。 (紙芝居、ペープサート、寸劇、絵図、発表原稿を作る) ・よりよい発表にするために、助け合って練習する。
第5次	月／日 ()限	《広げる》 伝え合う	<p>自分のことばで発信する。ー発表ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ班で協力して、相手にわかりやすく伝える。 ・お互い聞き合い、しっかり受けとめる。 ・自分の考えや感想を述べ、積極的に質疑応答する。
第6次	月／日 ()限	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・評価し、共有し合う。 ・調べ学習とプレゼンテーションにおいて、自他班の良かったところ、次回頑張りたいことを振り返り、今後のあらゆる活動・生活場面に生かす。

前の資料の説明

- 資料に載せているのが、授業計画です。
- 第1次「読み味わう」、第2次「調べる」、第3次「まとめる」、第4次「発表を組み立てる」、第5次「伝え合う」、第6次「振り返り」の流れです。
- いつ、どういう内容を学習するかという「授業の流れ」を配布して知らせておくと、生徒たちも「学習のねらい」と予定がわかり、限られた時間で仕上げていかなければならないと意識して進めていくので、スムーズに、計画的に進めることができ、あとあとも、これが役に立ったな と思っています。

読み味わう



1時間丸々、平家に関する本をいろいろ手に取って、じっくり読み味わう時間です。

本は、イメージが湧き手に取って読みたくなるように、表紙が見えるように並べ、絵本から大人向けの難しい本まで、多様に本を揃える必要があると実感しています。

調べ方が、ただ部分的な「つまむ」という調べ方ではなく、ただ「写す」というだけにならないようにするために、このじっくり読み味わう時間を、いつも大切にしています。

短くて1時間、その間中ずっと、平家物語の世界に浸る静かな時間が流れていき、この流れの中で、興味を持ちテーマを見つけていき、また、それぞれ課題を見つけ、なぜ？と疑問を持つところや、もっと知りたいと思うところに、テーマを絞っていきます。

調べる



読んでいくうちに、テーマに関する資料を5~6冊集めてきて比べ読みをしています。

複数の本を比較しながら考え、まとめていき、徐々に、調べ方が深まり、自主的・主体的なものになっていくようです。

まとめる



まとめたあと、学年全員のレポートを冊子にして、みんなに配布して、読み合うこともします。

自分たちで調べ！ 伝え合おう！ 『徒然草』の世界！

2年()組 氏名()

- 〔目標〕
- ・多くの作品にふれ、古典「徒然草」特有の特徴や筆者古人のものの見方をとらえよう。
 - ・伝え方を工夫し、調べたことをまとめ、自分の意見を発信しよう。

〔授業の進め方〕

		授業の流れ	学習内容	自己評価
第1次	12/11 4限	読む	みんなで声を出して繰り返し読み味わおう。 (個人、群読、一斉読み)	A
第2次	12/11 6限	調べる	班でテーマを決めよう。 力を合わせて情報を集めよう。	B ^o
	12/11 2限			B
第3次	12/11 2限	組み立てる	発表の流れを組み立てて、よくわかる伝え方を話し合おう。	B
	12/12 4限			A
第4次	12/12 1限	伝え合う	わかりやすく発信しよう。 ・「しっかり伝えよう」 ・「受けとめよう」	A ^o

〔手順〕

- ① 興味のある話を調べるための本をじっくりさがす。読む。
- ② 次の項目について調べる。考える。記録ノートにまとめる。
(・わかりにくい古語ひとつ一つの意味やはたらき ・文章の内容、あらすじ
・行動やせりふから古人の気持ちを考える ・それに対する自分の意見 etc.)
- ③ わかりやすい発表の仕方を話し合い、まとめる。清書する。
(・紙芝居 ・模造紙 ・人形劇 ・寸劇 etc.)
- ④ 発表会本番に備え、工夫し練習をする。
(・話しの順番 ・声の大きさ ・話す速度 ・準備物の使い方 etc.)

(資料2) 学習内容と調べ学習の手順

これは「学習内容と調べ方の手順」です。生徒たちは、毎回の調べ学習授業の終了時に、これを確認しながら、自己評価を行います。取り組み方が順調であればAを、予定通り進まない場合はBを、とてもうまくいった時間は~~///~~マークをつけるなど自分でその時間の評価をし、振返りをします。

わかりやすく発信するために

◎ 発表の構成〔組み立て〕を考えよう！（班で力を合わせて話し合おう！）

① どんなことを、どういう順序で話していくか？

(例) 1、古典を工夫して読む。(会話文・地の文を分担して朗読。)

- 2、語句の説明
- 3、全体の内容
- 4、筆者の心情
- 5、考えたこと・感想

② どんな資料(図・絵)を見せて説明するか？

★ **発表に使う「見せる資料」を作ろう。**

- ・ 「発表」するとき、最も中心になるのは？
- ・ それをどんな資料にするか？
- ・ 中心になるものを、いつ見せるか？

③ 実際に話すことを考え、原稿を書いてみる。

★ **話の組み立て(話す順序)を考えて原稿を書こう。**

- ① 話の出だし：「これから・・・について調べたことを発表します。」
- ② 伝える中心：
 - 1、調べたこと(調べた内容をまとめる)。
 - 2、図・絵などの説明。
 - 3、わかったこと。気づいたこと。考えたこと。感想。
 - 4、質疑応答
- ③ しめくくり：「これで・・・についての発表を終わります。」

発表のポイント：わかりやすく！正確に！効果的に！発信しよう。

〈聞く人の身になって。話す人の身になって。〉

わかりやすく発信するために、発表を組み立てています。

どんなことを、どんな順番で話すか。話し合い、プレゼン原稿を考える人、そして、見せる資料を作る人を決め、このような手順で、誰が何を担当するか役割分担して進めていく検討会をします。

発表の流れ

- ① 「これから発表の準備をしよう」(二本の矢)について調べたことを発表します。
- ② 調べたこと
- ③ 写真や図、絵などの説明を入れよう。
- ④ 調べた感想
- ⑤ 質疑応答
- ⑥ 「これで発表を終わります。」

① まずは、この古典と赤ラインをひいているとこの語句の説明をします。の東村◎松原◎土井

② 調べたこと
 徒然草を調べたこと、兼好が考えたこと、兼好の深い人間的な理解です。自分自身を省みて、人はたれも不完全であることを知ったうえで、さまざま

③ 写真や図、絵などの説明を入れよう。
 兼好の考へ方のもとにあるのは、一人は死に、今あるものはなくなる。と、い

④ 調べた感想
 私はこの作品を通して、自分にもいろいろなとらえ方があることを学びました。明日は、思いを込めて、この作品を調べ、なまけ心をもち、よく分かりました。意識していても、知らず知らずのうちに、なまけ心が出て、なまけ心をもたないよ

⑤ 質疑応答
 質問
 兼好の「兼好は人間とあれこれ悩み、迷うものか」といふことについて、説明をお願いします。

① まずは、この古典と赤ラインをひいているとこの語句の説明をします。の東村◎松原◎土井

② 調べたこと
 徒然草を調べたこと、兼好が考えたこと、兼好の深い人間的な理解です。自分自身を省みて、人はたれも不完全であることを知ったうえで、さまざま

③ 写真や図、絵などの説明を入れよう。
 兼好の考へ方のもとにあるのは、一人は死に、今あるものはなくなる。と、い

④ 調べた感想
 私はこの作品を通して、自分にもいろいろなとらえ方があることを学びました。明日は、思いを込めて、この作品を調べ、なまけ心をもち、よく分かりました。意識していても、知らず知らずのうちに、なまけ心が出て、なまけ心をもたないよ

⑤ 質疑応答
 質問
 兼好の「兼好は人間とあれこれ悩み、迷うものか」といふことについて、説明をお願いします。

さらに、発表をスムーズに進めるために、資料作りと同時進行で発表原稿を作成します
 発表の時は原稿を見ずにプレゼンしますが、このように一度原稿化して、プレゼンを確認することが、スムーズにプレゼンするために大切なことだと、いつも感じています。プレゼンは、調べたテーマ・テーマ設定の理由・内容説明・まとめ・調べた感想・質疑応答という流れで、いざ発表です。

発表！牛若丸・平清盛・鶴越・一の谷・屋島・壇ノ浦の戦い 静御前・祇王・那須与一・敦盛最期「小枝の笛」・琵琶「平曲」



調べた事を広げる時間として、わかりやすく発信する時間です。プレゼンテーション方法はさまざまです。この他、年表や図を模造紙に描いて説明する方法や、琵琶法師の平曲をCDにあわせて練習して発表し琵琶法師について語ったり、さまざまな方法でのプレゼンを生徒たちは考えます。

目標「調べたことを、考えまとめ、わかりやすく発信しよう。」

聞く人の身になって。話す人の身になって **評価表** (5段階)

班	メンバー	テーマ	観点 (わかりやすさ)	評価
1		「 第2回 の3段階」	話し方：声が大きく、ゆっくり話しているか。	4
			説明の仕方：正確で親切な内容説明ができているか。	5
			資料作成：中心となる資料で、効果的に活用できているか。	5
			チームワーク：協力し、助けあっているか。	4
2		「 くわすに ある法師」	話し方：声が大きく、ゆっくり話しているか。	3
			説明の仕方：正確で親切な内容説明ができているか。	4
			資料作成：中心となる資料で、効果的に活用できているか。	4
			チームワーク：協力し、助けあっているか。	4
3		「 神原日 かろう」	話し方：声が大きく、ゆっくり話しているか。	3
			説明の仕方：正確で親切な内容説明ができているか。	4
			資料作成：中心となる資料で、効果的に活用できているか。	3
			チームワーク：協力し、助けあっているか。	5
4		「 高名の 木のぼり」	話し方：声が大きく、ゆっくり話しているか。	4
			説明の仕方：正確で親切な内容説明ができているか。	5
			資料作成：中心となる資料で、効果的に活用できているか。	5
			チームワーク：協力し、助けあっているか。	4
5		「 」	話し方：声が大きく、ゆっくり話しているか。	/
			説明の仕方：正確で親切な内容説明ができているか。	
			資料作成：中心となる資料で、効果的に活用できているか。	
			チームワーク：協力し、助けあっているか。	
6		「 あは、5 時3分 まで」	話し方：声が大きく、ゆっくり話しているか。	4
			説明の仕方：正確で親切な内容説明ができているか。	5
			資料作成：中心となる資料で、効果的に活用できているか。	5
			チームワーク：協力し、助けあっているか。	5

○自分達で調べた感想

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

○調べを公表した感想

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

前の資料の説明

この評価用紙を使い、自分の発表も他の発表も、また、ビデオも皆で視聴するなどして、お互いの相互評価をし合いながら振り返りをしました。

「聞く人の身になって、話す人の身になって」という気持ちも育っていったようです。

これらの一連の調べ学習を通し、生徒の成長を感じたところは、

- ・教科書を越え幅広くテーマを見つけ出せ、
- ・自主的に関心を持ち進められた。
- ・主体的に調べ迫っていく力がついた。
- ・よりよく発表しようという工夫が見られ
- ・生き生きした表情で取り組めた。
- ・主体的に聴く力が向上した。等の生徒の様子がみられました。

また、周囲の教員も関心を持ってきてくれました。「国語科は面白そうなことをやっていますね。」

「放課後自主的に残って資料作りをやり遂げていた班があったよ。」と声が掛かる。

また、クラス担任がプレゼンテーション授業を参観に来てくれるなど、見守られながら図書館活用が広まっていきました。

この後、参観してくれた教員らは、後々、自分の教科で図書館を活用することに、繋がっていくこともあり、徐々に、国語科の中や、他教科へと、授業での図書館活用が広まる「下地」を作っていたのではないかと、思っています。